

第4回 VMAT 治療計画実習講習会 参加報告記

九州がんセンター 診療放射線技術部

片平俊善

6月8日・9日に行われた第4回 VMAT 治療計画実習講習会に参加しました。まず、この講習会に参加した理由は、医学物理士の現状を鑑みて、九州と関東の実務経験での差が大きくなっていると日々感じていたためです。しかし現在、私が医学物理士として仕事に没頭しているかというところではありません。このままでは医学物理士としての能力に差が開いていく一方ではないか…。そんなもやもやした気持ちを共有できる方が参加しているかもしれないと思い、応募に踏み切りました。結果として、VMAT の治療計画のスキルアップのみならず、講師の先生方および受講者の方々と放射線治療に関して（放射線治療以外も）熱のこもった話をするのができ、大変有意義なものでした。

今回の講習会は実習と謳っているだけあって、Eclipse をひたすら触っている状態でした。私は普段、VMAT の治療計画に携わっていないため、対応できるか不安でしたが、講師の方々のわかりやすい説明でなんとか計画を進めることができました。TG-119 に基づいた基本的な治療計画を行うところから始まり、続けて前立腺の治療計画を行いました。前立腺局所のプランまでは順調に作成することができたのですが、全骨盤と頭頸部になると一気に難易度が上がりました。要所要所で Tips を解説していただき、ダミー輪郭や NTO の設定などの工夫について学ぶことができました。結局、最後まで満足のいく治療計画をたてることはできませんでしたが、何が良く、何が悪い治療計画なのかを判断する材料を得ることができたのは大きな収穫です。

講習会1日目終了後の懇親会にも参加しましたが、放射線治療に関する境遇や悩み、展望等に関してこの紙面では書き表すことができないくらいたくさんのお話をするとともに、新たな人とのつながりができ、本当に参加してよかったと思える講習会でした。

講師の先生方が今までの臨床で培った経験と理論をもとに、様々な工夫をされているさまを目の当たりにして学ぶとともに、自分も頑張らないといけないという刺激を受けました。また、それらを惜しげもなく私たちに教えてくださる講師の先生方から学ぶことができ、別に関催される講習会にも参加したいと思える内容でした。

最後になりましたが、本講習会を企画・運営していただいた医学物理士会の関係者の皆様に深く感謝申し上げます。